



田かぼコード







同じ人が作っていても、田んぼが違えば別々です。

生きもの元気米は平成27年より、田んぼにそれぞれコード をつけています。「田んぼ一枚ごと」に管理しているので、栽培























生きもの元気米認証マーク



ているためです。これを見れば「誰が、どこの田んぼで作った

している農家さんが同じでも、田んぼが違えば別々に管理し

お米か」がわかり、農家さんも「これは自分が作ったお米」と はっきり言い切ることができます。生きもの元気米のしくみを

明確にするものです。

袋ごとの 固有番号 YYy1234 - 16 - 000 年産 田で第二下派



の記録 田んぼごとの情報、生きもの

生きもの元気米では、栽培期間中に田んぼごとに生きもの 調査を行い、その結果を田んぼごとの栽培状況とともに、パッ

ケージやホームペーで公開しています。毎年、生きものの記 農作業を頑張る農家さん、生きもの元気米を食べて応援し えていく様子 沼研究所、み てくださるみなさま、作業に応援参加してくださるみなさま、 録が積み重ねられ、地域の生きものの様子が記録されます。 をお伝えできるよう、これからも調査を続けていきます。 生きもの元気米の取り組みをすすめる河北潟湖 んなで活動を続ける成果として、生きものが増き

います。(一部の袋では認証 ●田んぼコードは米級について いる認証マーク内に記載して マークの外にあります。)

文字列左のアルファベットと数 字が田んぼコードです。

▶真ん中の数字は年産です。 「16」は2016年産です。

が割りふられています。袋固有 ▶右側の3ケタの数字は、田んぼ ごとに、001から1袋ごとに数字

りの特徴 生きもの元気米・五

苗されている。 特徴 1. 畦で除草剤を使わずに栽

<u>等殺虫剤の空中散布をしていない。</u> 等不使用) 特徴2.ネオニコチノイド系農薬 (浸透性殺虫剤ネオ 特徴3.栽培期間中に田んぼの生きもの調査がおこなわれている。 んぼごとに公開さている。 特徴4.生きもの調査の結果は田

対けれている。 特徴 5. お米は田んぼ一枚ごとに





E-Mail kome@kahokugata.sakura.ne.jp 生きもの元気米

〒929-0342 石川県河北郡津幡町字北中条ナ9-9 TEL 076-288-5803 / FAX 076-255-6941 NPO法人河北潟湖沼研究所 平成29年3月発行

http://kahokugata.sakura.ne.jp/ikimonogenkimai/index.htm

ネットショップ http://kahokugata.cart.fc2.com/

このパンフレットは地球環境基金の助成を受けて制作しました。

かもの 出塗米2016







開場の面積

10,834m² 平成26年

19,344m² 平成27年







平成28年

















平成28年

5年

平成27年 **6**軒

平成26年

河北潟湖沼研究所が田んぼごとにお米を認証する生きもの元気米の活動は、開始してから約3年 がたちました。一つの圃場 (田んぼ: OSa159) は、今年からレンコン栽培に切り替わりました。生きも の元気米を始めた年から無農薬でお米を作っていた田んぼですが、レンコン田となった今年も、農 薬不使用で栽培されています。生きもの調査で圃場の状態を見ながら、薬はできるだけ使わない、と いう農地を増やし、そこで栽培された農産物を「生きもの元気農産物」として、作る人、食べる人、農 地の生きもの、みんなが元気になるように広めていければと思います。

2016年の夏には、農薬不使用の生きもの元気米田んぼ(OSa7475)へ、ボランティアの方々による 除草作業の応援も行われました。農地の生物多様性を保全したい、農家さんを元気にしたい、安心 して食べられる農産物を届けたい、そうしてはじめた生きもの元気米の活動ですが、現在継続でき ているのも、参加してくださる農家さん、応援してくださるボランティアの方々、そして生きもの元気 米を選んで食べてくださるみなさまのおかげです。ありがとうございます。これからも生きもの元気 米をよろしくお願いいたします。

たもの元気米 平成28年の生

田んぼの様に

農家さんが生きもの元気米の栽培方法を選ぶ、食べる人が生きもの元気米を選ぶ、みんなの選択のおかげで田んぼのようすがかわっていきます

吉本豊さん 田んぼ:YFu49

生きもの元気米3年目、春の田植え後 のフタバムグラが畦で花を咲かせま マサギの姿がよくみられました。ほか の田んぼではみられない小さな野草 す。2016年はハネナガイナゴやコバネ には、田んぼの縁を歩いて餌をとるア イナゴがたくさんみられました。



田んぼ: WSa63 綿村 裕さん

ニッや二枚貝のドブシジョが多くみら れ、夏には湿地に生息するハラビロト 生きもの元気米3年目、カイエビがと ンボが見つかりました。アシナガグモ ても増えました。淡水産の巻貝、ヒメタ やヒメカメノコテントウが害虫を食べ ているようです。



農事組合法人One 田んぼ:0Sa7475

生きもの元気米2年目、昨年に続き農 ルアオガエルのおたまじゃくしが目立 がたくなんやられるのもいの田んぼの 特徴です。稲の間にはコナギやオモダ ちました。土がやわらかく、イトミミス 薬不使用で栽培、カイエビ、シュレー 力が旺盛に生えました。



農事組合法人One 田んぼ:0Sa2792

という石川県独自の品種を栽培してい ます。これまでも農薬をできるだけ使 ヤブヘビイチゴやトキンソウなど背丈 生きもの元気米で唯一「ゆめみづほ」 わずにいたためか野草の種類が多く、 の低い野草がたくさんみられます。ア **オモンイトトンボの姿もみられました。**



田んぼ:NHa89 中村 明さん

がもよく飛んでいました。中干し前の 寧にされていることから、背丈が低い 生きもの元気米3年目、畦の草刈が丁 稲がのびてくるとクモ類が目立ち、トン 田んぼには、カイエビやヒメタニシ、オ 植物の種類が多いことが特徴的です。 タマジャクシもたくさんみられました。



樂園果実石橋農園 田んぼ:IKi789

今年から生きもの元気米を始めた田 やコミズムシのなかまなどの水生昆 番山手にあり、農薬不使用で栽培され ました。 水の中にはカイエビがたくさ んみられ、小さなゲンゴロウのなかま んぼです。生きもの元気米の中では-虫が活発に動いていました。



田んぼ:0Sa278 農事組合法人One

シ、タカサブロウなどの野草が目立ち 2016年の生きもの元気米田んぼの中 確認されています。水草のシャジクモ ます。春はタシギが4~5羽、田んぼで 餌をついばんでいました。草も動物も 一番大きく、野草の種類も一番多く やウキクサ、スズメノテッポウやタガラ 多い田んぼです。



田**んぼ:0Sa159** 農事組合法人One

昨年まで生きもの元気米を栽培、今年 から生きもの元気「レンコン」になりま ユスリカ類 が増え、レンコンの葉の 成長とともにホタルイが群生、シャジ クモも群落がみられました。上空をツ した。見られる生物も変わり、アカムシ バメがよく患塾していました。 に対け を食べて 万成の 間 んぼを増やして いとう リ



弱合在下供你供在你!

生き色の元

農薬をまくことが習慣的に・・ ● 殺虫剤の空中散布 害虫が発生したら

を食べる益虫まで死にます 田田

大変だ、全体に薬を まいて殺してしまえ

土がぼろぼろ

ばいいだろう。

乾いてすめない

たら、抗がん剤でガン組 こもに、白血球が死んで 人だっ

剤で草を枯らす

畦は、草がすぐのび るから、除草剤でぜ

んぶ枯らそう

水草がなくて産卵できな

い。隠れ場所がない。

田んぼの境界の

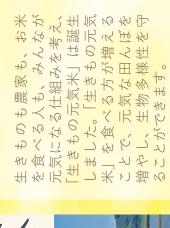
路

田んぼには色々な働きをする生 ものが数多く生息し、それら

田んぼも健康診断を

草が枯れ、土はぼろぼろになり、クモや バッタ、カエルの姿もなくなります。 たら、骨髄が破壊され、





要なときに必要なぶんだけ、できるわない、それは田んぼでも同じ。詳

餌がないよ

この田んぼに 農薬は必要?

昨日の農薬で

虫が減った。

それは田んぼでも同じ。



農薬は必要最小阪 生きものいっぱい

お米もおいし

色んな草が生える 睡に除草剤が まかれなくなって

生きもの調査を実施して、

+ 浸透性殺虫剤 (ネオニコ等) を使用しない 農薬の空中散布をしない

・農薬の使用を制限 ・田んば1枚ごとに収穫・管理 ・個性をアピール

酮%

L記2つの条件で、農家さんと契約 I ● 畦の除草剤を使わない

0

△ Z

● 生きもの調査を実施する

・農家と契約、生きもの元気米認証 ・田んぼごとに生物調査、情報発信 ・田んぼごとに袋詰め、管理 消費者

・お米の育った環境がみえる ・生産地や農家がわかる、安全安心 ・食べることで環境保全、活動支援

生きもの元